

<総合政策部長>

市内の感染者の発生状況について、全国における数値同様、5 月末以降で低い水準が続いている。愛知県は 7 月 11 日をもってまん延防止等重点措置の対象地域から解除される見通しだが、大村愛知県知事は、愛知県全域を対象に、飲食店の営業時間短縮等の要請・働きかけを継続するという方針を表明している。

<危機管理課長>

市民への周知方法として、尾張一宮駅や各部署における注意喚起に関する掲示物や、一宮七タビジョンに放映するデータ等を更新する。

公共施設への対応について、一部を除き通常どおりの開館・運営とし、予定されている市主催のイベントは開催する。これらの対応については、明日（7 月 9 日）に報道発表を行う。

<市民健康部長>

ワクチン接種について、59 歳以下の方への接種券の発送に伴い、一宮市民病院、木曾川市民病院、木曾川体育館および千秋病院における接種分について、7 月 12 日から予約を受け付ける。こちらも明日（7 月 9 日）、会場ごとの日程・枠数等の詳細について報道発表を行う。

<副市長>

七夕まつりをはじめ、イベントの規模を縮小する等の工夫を凝らしてはいるが、職員採用試験等、市の事業を実施していくうえで感染が広がることのないよう、細心の注意を払うように。

<保健所長>

オリンピックに関連して、ホストタウンにおける事前合宿等において、選手等に新型コロナウイルス感染症の陽性が確認された場合の対応について、厚生労働省からの事務連絡があった。変異株の検査等を実施する旨が記載されており、愛知県衛生研究所との連携等、迅速な対応が求められている。

<市長>

愛知県では感染状況は落ち着きを見せているが、首都圏や沖縄県など、感染が拡大している地域があるのも事実。首都圏への出張や中学生の沖縄派遣には慎重に対応するなど、引き続き厳重な警戒を行っていく必要がある。